

議事概要

会議の名称	平成30年度第2回三田市子ども審議会
開催の日時	平成30年11月5日（月）14時～15時
開催の場所	ウッディタウン市民センター 大集会室
出席した委員の氏名	名須川知子会長、中西利恵副会長、尾上尚司委員、永井和浩委員、鈴木直子委員、平岡浩二委員、横山博人委員、森脇明美委員、野田奈々委員、中島啓子委員、西さゆり委員、上原千晶委員、小石川あゆみ委員
出席した職員の職及び氏名	〈事務局〉 岡崎正文学校教育部長、奥毅吾こども室長、外岡明文学校教育部次長、鹿嶽浩子健康増進課長、江田貴子こども政策課長、横溝裕香子健やか育成課長、後田哲也こども支援課長、久後紀子学校教育課主幹、井上尚博こども政策課副課長、初井清陽こども支援課係長、山岡久哲こども政策課係長
その他出席者	(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 福嶋順 小林智
傍聴人の人数	0名
議題等	(1)第2期三田市子ども・子育て支援事業計画の策定にかかる諮問 (2)第2期計画策定にかかるアンケート調査について
会議の概要	審議事項について、委員会の意見あり（議事概要参照）
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	【資料1】第2期子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査について 【資料2】子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（就学前児童保護者用） 【資料3】子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（小学生保護者用） 【資料4】三田市の子どもの生活に関する調査（中学生・高校生用） 【資料5】平成30年度三田市立幼稚園の園児数【園区内就園率の状況】 三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針（案）
連絡先	健康福祉部 こども室 こども政策課 電話（079）559－5079

会議経過

1. 開会

2. 諮問

名須川会長に事務局から諮問書を手交

3. 議題

(1) 第2期計画策定にかかるアンケート調査について

(1) について、事務局説明

会 長：それでは今説明があった内容について意見があればお願いします。設問が減ったのはいいいことだと思いますし、子育てしやすい環境に向けた提案は最後に書いてもらう形式になっています。ご自身が答える立場で、いかがでしょうか。

委 員：中高生向けのアンケートで感じたことですが、通学について、通学の方法や、それに対する思いなど質問してはどうでしょうか。三田市は広いので、あり方検討委員会の資料を見ても感じたことですが、これからどうなっていくかを考えたときに、地域での学習ということを見ると、学校に行くまでの手段や負担感について追加できるとどうかと思いました。

会 長：子どもたちの通学についての意見を聞くことで、カメラや防犯のことにもつながります。他にいかがでしょうか。

委 員：アンケートの内容は、各ステージにあわせてうまく作っていると思いました。質問も減ってすごくいいと思います。他の部署との兼ね合いでなくなったのかはわからないのですが、予測できない災害についての設問を取り入れてはどうでしょうか。

会 長：ハザードマップを見えていますかといったようなことでしょうか。他の部署で調査は行われているのでしょうか。

事務局：今回のアンケートには災害に関しては含めていません。今いただいたご意見を持ち帰り、他部署の取り組みも踏まえ最終的に確認したいと思います。

会 長：他にご意見いかがでしょうか。

委 員：アンケートで皆さんが困っていることの質問は項目として網羅されていると思うのですが、保護者それぞれいろんな事で困りごとがあると思うのですが、特にどこを重要視しているかが分かるようになっていると、解決の目安になると思いました。ご検討をお願いします。

事務局：回答者がどういったところに重点を置いているかをみる項目としては、例えば就学前児童であれば問44などになりますが、三田市において子育てする上での満足度について17項目をつけています。次の計画の策定にあたっては、このような質問で不満の多いところを計画で補っていくような形で検討を進めていきたいと思えます。

会 長：ありがとうございました。なるほどという気もします。他にないでしょうか。

委 員：アンケートはどれくらいの回収率を想定されているでしょうか。また、子育ての支援事業の地域的なニーズを聞く設問があります。対象者は無作為的に抽出されるということですが、回収された時の比率が偏らないようにしてほしいという気持ちがあります。いかがでしょうか。

事務局：小学生と就学前のアンケートについては、無作為で住民基本台帳からの抽出となるため、人口の多い所のサンプル数が多くなりますが、おおむね分母と分子の比率は同じになると考えています。回収率については前回の実績が就学前46.8%、小学生43.1%、中高生は学校での配布・回収のため高く、97.6%となっています。これからアンケートのデザイン等を検討し、前回より回収率が上がるように進めたいと考えています。

会 長：三田市は回収率が高い方だと思います。他にいかがでしょうか。

副会長：就学前のアンケートの11ページ、問31ですが、子育てについてネガティブな質問ばかりなので、可能であれば子育てを楽しいと思うことがありますかといった質問も入れてほしいと思っています。

事務局：問31は2つの質問項目が計画の指標になっているためこういう形にしていますが、ご指摘の通り、いいことも聞いておく必要があると思うので、入れられるように検討したいと思います。

会 長：子育ては大変だけど楽しいというものもあっていいかもしれません。検討をお願いします。

ます。今回の意見の内容については、アンケートに反映できるよう検討いただきたいと思います。最終的には会長・副会長で事務局と相談して検討し、確定したものを改めて委員の皆様にお知らせするという進め方でよろしいでしょうか。それでは議事としては終了し、学校園のあり方審議会の報告ということで、事務局よりお願いします。

4. その他 三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針について報告

三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針について、事務局説明

会 長：現在のあり方検討の審議会からの報告ということで、案として基本方針のパブリックコメントを実施しているということでした。質問等あればお願いします。

委 員：幼稚園の利用者が減っているという話がありましたが、自分が仕事をしていて幼稚園でも預かってもらえるようになっていたけれど、結局平日にいろいろと幼稚園の予定が入ったりして、働いていると厳しいという話を聞いています。やはり幼稚園は、あくまで働いている人よりも融通が利く人をターゲットにしていく方針でしょうか。

事務局：幼児教育については、認定こども園を視野に検討を進めていくことになっています。認定こども園となると、1号認定だけでなく、2号認定、幼保連携型では3号を含めてということになります。ただ、様々な行事については現在でも土曜日の開催等を行っており、工夫できる場所もあると思います。そのような形で進めたいと考えています。

委 員：検討してもらう際に、資料にそういった目安が記載されているとわかりやすいと思います。入園先の検討で、最初から幼稚園は論外と対象から外してしまっている人もいますので、そういう情報発信は大事だと思います。

事務局：年間行事については園の方でも情報発信をしているところですので、土曜日・日曜日などの開催等について表現できる場所があれば進めていきたいと思っています。

会 長：ほかにいかがですか。

委 員：最初のあり方検討会から10年くらいかかっていると思います。時間はかかりましたがまとめたいただいたのはいい案だと思います。今後のスケジュールで気になるのが、平成31年度から実際に実施するものはまだないということでしょうか。3歳児保育の実施に向けて準備を進めていくということに止まるのでしょうか。

事務局：すでに園児募集をしている時期であり、事前の広報ができていない状況ですので、3歳児保育について今から園児募集は難しく、これから準備を進めて、平成32年度からの開始が最も早いと考えています。1点目のご指摘の部分については、三田市就学前保育教育に関する提言書を平成23年2月にいただいているところです。それに基づき、混合保育や預かり保育といったところの取り組みを進めてきたところです。このたび改めて審議会を通じていろいろとご意見をいただき、基本方針という形で新たな進め方を提案させていただいています。ご理解いただければと思います。

会長：子育て全体に関わることとして、丁寧に説明いただきました。基本方針の中で今回私が注目しているのが15人という下限が決まったということです。何のために幼稚園に行くのかと言えば、集団の中で思考力や忍耐、自己抑制、自尊感情など、遊びを通して「集団の中で」しか培えないものであるもので、今のようにきょうだいが少ないとか地域で遊ばないこどもが増えている中で、能力を育むためには15人は必要だという妥当な数字が出て評価しているところです。後は幼稚園・認定こども園・保育園などの選択肢があるのは適切なことですし、幼稚園は、普通は3歳からスタートです。いろんな選択肢ができるためにモデル園として公立の認定こども園化もしてほしいというのが希望です。結果的にどういうことかといえば、いろんなタイプの就学前施設があり、かつ保育の質も高めていく、公私問わず。気になるのは、働く女性がどんどん増えますから、幼稚園といえども預かりは絶対必要だと思います。また、幼児教育の無償化もあり、いい方向に進めばいいなと思いますが、気になるところです。大きな一歩だと受け止めさせていただきます。本日の議題は終了となりますが、よろしいでしょうか。熱心なご審議ありがとうございました。

5. 閉会